

狭山市教育委員会  
教育長 滝嶋 正司 様

狭山市立笹井小学校  
校長 佐野 芳美

令和6年度 狭山市立笹井小学校 自己評価書

1 本年度の重点目標

(1)総合的な学習の時間	(2)学力向上	(3)家庭との連携(家庭学習)	(4)DX教育の推進
(5)マーチング活動	(6)人権教育	(7)健康教育・体力向上	(8)防災教育

2 本年度の経営方針

○一人一人の児童のよさを認め、伸ばし、授業が分かり、楽しく学び合う学校づくり。  
 ○教職員一人一人のよさを生かし、研究と修養に励み、信頼と活力に満ちた学校づくり。  
 ○笹井地域のよさを生かし、家庭や地域との連携を深めてこそそのファミリー。  
 地域音教育力を生かしたコミュニティースクール(学校運営協議会)3年目を活用した開かれた学校づくり。

3 自己評価結果 【評価の目安】A:よくできている(90%) B:概ねできている(85%以上) C:あまりできていない(70%以上) D:できていない(70%未満)

領域	番号	評価の観点	達成状況	改善の方策
1 学校教育 目標	1	私は、「賢」「和」「逞」について実現の努力をしている。	A	○今後も学校だよりやHP、コミュニティースクール等、様々な方法や人とのつながりを通して、保護者のみならず地域へ学校教育活動について情報を広めていく。
	2	児童に、「賢」「和」「逞」の場面を意識した場面がみられる。	A	
	3	本校は、「賢」「和」「逞」について保護者への浸透が図られている。	A	
2 組織 運営	4	本校は、校長・教頭を中心に、学校経営方針のもと、学校教育目標達成に向けて組織的に取り組んでいる。	A	○少ない人数で効率的に運営できるよう更なる改善を行う。 ○学校規模に応じた分掌組織の見直しを行っていく。
	5	本校は、学年・分掌組織を活かし、協働体制で教育活動を進めている。	A	
	6	私は、学校経営方針に基づき参画意識をもって、教育活動を進めている。	A	
3 学力 の育 成	7	児童は、学習規律の定着が図られている。	B	○主体的で対話的な学びをより充実させるため、校内研修等で授業展開や場面設定等、教職員の授業力の向上を図る。
	8	私は、基礎・基本の習得を目指した指導をしている。	A	
	9	私は、主体的で対話的な深い学び(提言5)の実現に取り組んでいる。	B	
	10	私は、児童が学びを実感できる授業(提言6)に取り組んでいる。	A	
4 道徳 人権	11	私は、ユニバーサルデザインを意識した授業を展開している。	B	○学校公開日等で校内の活動や道徳の授業、取組を積極的に地域に発信していく。また、人権教育に重点を置いた実践も推進していく。
	12	私は、ICT(タブレット・PC・大型TV等)を活用した授業に取り組んでいる。	A	
	13	私は、道徳の授業を核とし、道徳の心情を育てる心の教育を行っている。	B	
5 特別 活動	14	私は、思いやりのある言葉遣いなど、人権感覚を醸成する指導をしている。	A	○知識伝達型の授業展開にならないよう、児童の意見交流の時間の確保した授業を実施する。 ○Q-U等を活用して学級や個人の状況を分析し対応を練り、全教職員で支援にあたる。 ○児童の自発的な活動につながるよう具体的な例や方法を示し、「あいさつ」と「無言清掃」をより徹底させていく。 ○PTAやコミュニティースクールを活用し、教職員・保護者・地域との情報連携・行動連携をより深め、諸課題や諸問題に対し外部の協力を得ながら早期発見・早期対応・早期解決に努める。
	15	本校は、縦割り活動等で望ましい異学年交流が実現できている。	B	
	16	私は、話し合い活動を通して児童の主体性を育てている。	B	
6 生徒 指導 教育 相談	17	私は、児童の笑顔があふれる学級づくりや校務運営を行っている。	A	○生徒指導・教育相談を主として学級や児童の情報を共有する。 ○Q-U等を活用して学級や個人の状況を分析し対応を練り、全教職員で支援にあたる。 ○児童の自発的な活動につながるよう具体的な例や方法を示し、「あいさつ」と「無言清掃」をより徹底させていく。 ○PTAやコミュニティースクールを活用し、教職員・保護者・地域との情報連携・行動連携をより深め、諸課題や諸問題に対し外部の協力を得ながら早期発見・早期対応・早期解決に努める。
	18	私は、無言清掃や掃除の出来ばえを確認する指導をしている。	B	
	19	本校は、生徒指導や教育相談を通して、共通行動のもと組織的対応が図られている。	A	
	20	私は、報告・連絡・相談を心がけ、早期発見・即日対応に努めている。	A	
	21	私は、基本的な生活習慣の確立のため、毎月の生活目標に取り組むよう指導している。	A	
	22	私は、いじめを許さない積極的な指導をしている。	A	
7 体力 健康 安全 食育	23	本校は、不登校児童への支援や不登校を未然に防ぐための指導をしている。	A	○「前向き給食」はじめ、グループ活動のあり方等、感染予防策について見直す。 ○「生き生きタイム」「歯科指導」など保健指導に加え、「スマホ・ネット依存」や「がん教育」などの新たな課題にも目を向け指導の充実を図る。
	24	私は、あいさつ(校内・地域)を行い、適切な指導(大きな声で怒鳴らず諭す)をしている。	A	
	25	私は、保護者にカウンセリング・マインドで傾聴・支援をしている。	A	
	26	私は、無言清掃や掃除の出来ばえを確認する指導をしている。	B	
	27	私は、体育の授業や休み時間における外遊びの奨励など体力の向上を図る指導をしている。	A	
	28	私は、衛生面(ハンカチ・ティッシュ・手洗い等)の徹底指導を行っている。	B	
8 施設 設備	29	私は、感染予防(マスク着用・黙食・検温等)の指導を確実にしている。	A	○清掃について、子供ができること、教職員がすべきことを整理し、安全に清掃活動ができるように清掃計画を見直す。 ○日々の安全点検を徹底し、瑕疵による事故0を当たり前のこととして捉え、施設設備の維持管理に努める。
	30	私は、登下校中の交通安全指導(危険予測等)を日常的に行っている。	A	
	31	私は、不審者対応(逃げる、早めの帰宅等)の指導を日常的に行っている。	B	
9 家庭 地域 連携	32	私は、円滑な配膳や食事中のマナーなど給食指導を適切に行っている。	A	○スクリーンやプロダなど紙ベースを減らし、学校情報を積極的に発信している。確実に目にしてもらえ(読んでもらえる)よう内容の充実を図る。 ○PTAとコミュニティースクールの連携もスムーズになってきた。今後も「中心となって動くコミュニティースクール」を実践していく。
	33	私は、安全で過ごしやすい教室環境づくりを実践している。	A	
	34	本校は、保護者や地域に学校の情報を積極的に発信している。	A	
10 研修	35	私は、毎月定例の安全点検を確実に実施し、報告している。	B	○校内研修や会議はもろろんのこと、ITやデジタル黒板活用など資質の向上を図れる研修の時間を増やしていきたい。 ○早く適切で正確な処理を行うため、一人ではなく教職員同士で声を掛け合い教えあい確認しあいながら、早く適切で正確な処理を行うようにする。
	36	本校は、ボランティアや外部講師等の協力を積極的に行っている。	A	
	37	本校は、PTAやコミュニティースクールと連携を深め、活動している。	A	
	38	私は、保護者との連携(連絡帳・電話・面談等)を密に行っている。	A	
	39	私は、自己評価シートにある自己の研修に目標を持って取り組んでいる。	B	
	40	私は、校内研修や研究授業を通して授業改善につなげている。	B	
11 働き 方改 革	41	私は、諸表簿の記入等の事務処理を適切に行っている。	B	○会議の回数精査は実践できているが、時間設定も取り入れていきたい。
	42	私は、来校者等に対して、挨拶や服装、言葉使い等、適切に対応している。	A	
	43	私は、教育公務員として、誇りを持ち、職務に専念している。	A	
	44	私は、出張や研修の報告(復命)を管理職に行っている。	A	
	45	私は、出張や研修の報告(復命)を管理職に行っている。	A	
	46	私は、体罰・暴言、SNS、個人情報漏洩、交通事故、会計事故等に気を付けている。	A	
	47	本校は、働き方改革に向けた業務改善を積極的に進めている。	A	
	48	私は、会議の回数や時間が無理のない範囲で実施されている。	A	
	49	私は、会議の開始時刻を守り、提案は時間内で終わるよう努力している。	A	
	50	私は、ワークライフバランスを考えて計画的に仕事を進め、ノー残業デー、ふれあいデーを意識して健康管理に努めている。	B	